

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	和歌山県
取組市町村名 取組団体・企業名	和歌山県
取組の名称	小学校等への県産品提供
実施時期	令和元年6月18日
取組内容	<p>和歌山県では、子供たちに和歌山の自然や文化への理解を深めてもらおうと県産のうめ、もも、みかん、魚、鯨肉、ジビエを県内の小学校等に提供しています。</p> <p>6月には、梅を提供し、ジュース作り体験を行いました。</p> <p>紀の川市内の小学校では、農家と県職員が学校へ出向き、生産状況や作物が成長する喜び等について説明する出前授業を実施しました。</p>

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名	和歌山県
政令指定都市名	和歌山市
取組市町村名	和歌山市立
取組団体・企業名	西和佐保育所
取組の名称	クッキングの実施
実施時期	6月21日(金)
取組内容	<p>○夏野菜カレー作り</p> <p>○対象者 年長 5歳児 17名</p> <p>○目的 自分達で育てた野菜を使ってクッキングを楽しみ、食への関心を持つ</p> <p>○材料 トマト・なすび・ピーマン・玉ねぎ・人参・ジャガイモ・牛肉</p> <p>・年長児が5月に苗植えをし、毎日水やりをして育てた夏野菜(トマト・なすび・ピーマン・玉ねぎ)を収穫し、それを使って夏野菜カレーを作りました。</p> <p>・野菜を洗い、ペットボトルのキャップを使って人参・ジャガイモの皮むきをする と、「おもしろいな〜」「きれいになってきた〜」と喜んで皮むきをしました。</p> <p>・包丁の持ち方を説明した後、保育者が手を添えて、子ども達と一緒に野菜を切りました。子ども達は包丁を持つと、少し緊張しながらも嬉しそうに切っていました。</p> <p>・切った材料を鍋に入れ、炒めました。鍋をのぞき込んで「やさい、いっぱいやな〜」と嬉しそうに友達と話をしながら混ぜていました。</p> <p>・スープ・カレー粉を入れて煮込み始めると、「カレーのいいにおいしてきた〜」「おいしそうやな〜」と嬉しそうに友達と話をしていました。「いっぱいでおもたいな〜」「おいしくな〜れ」と言いながらお玉で混ぜていました。</p> <p>・出来上がったカレーをお皿に入れて、みんなで一緒に食べました。「おいしい〜」「にんじんあった〜」「なすびもおいしいな〜」と野菜が嫌いで普段はなかなか食べられない子どもが野菜を食べたり、少食の子どももお代わりをしたり、全員いつもよりたくさん食べていました。</p> <p>・終了後、「おいしかった」「たのしかった」「またやりたい」とクッキングを楽しんだ様子でした。</p> <p>・翌日、「カレー作り、楽しかったと言っていました」「家でも作りたいって言っています」という保護者の声も聞かれ、家庭でも食に関する話をしたり、親子でクッキングしたり、食への関心を持つきっかけ作りができたと思います。</p>

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	和歌山県
取組市町村名 取組団体・企業名	広川町 広川町学校給食推進協議会
取組の名称	地産地消の取り組み (地元農水産物を取り入れた献立)
実施時期	6月～
取組内容	<p>郷土愛の育成と地元農水産物の消費拡大を目的として、町内で採れた農水産物を学校給食の食材として使用する取り組みを進めています。食材調達には直売所も関わり、生産者の窓口となっています。</p> <p>6月10日には、町内全ての小中学校（5校）・子ども園（1園）で町内産野菜を使用した給食が提供されました。</p> <p>〈6月10日の献立〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ささみの青じそ揚げ（広川町産しそ使用）・酢の物（和歌山県産わかめ使用）・ひじきの炒め煮（広川町産いんげん、和歌山県産ひじき使用）・ご飯（和歌山県産米（キヌヒカリ）使用）・牛乳 <p>今後も給食センター、直売所、町が連携しながら、町内産の農水産物を取り入れる機会を増やしていきたいと考えています。</p>